

平成29年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立瑞穂野南小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成29年度「とちぎっ子学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査期日

平成29年4月18日(火)

3 調査対象

小学校 第4学年、第5学年（国語、算数、理科、質問紙）

中学校 第2学年（国語、社会、数学、理科、英語、質問紙）

4 本校の実施状況

第4学年	国語	23人	算数	23人	理科	23人
------	----	-----	----	-----	----	-----

第5学年	国語	29人	算数	29人	理科	29人
------	----	-----	----	-----	----	-----

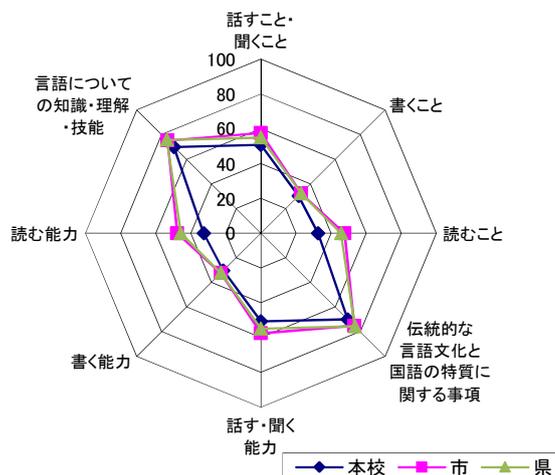
5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年、実施教科が限られていることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立瑞穂野南小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	50.7	57.5	54.9
	書くこと	30.4	32.3	32.3
	読むこと	32.6	47.7	45.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.0	75.3	75.8
観点	話す・聞く能力	50.7	57.5	54.9
	書く能力	30.4	32.3	32.3
	読む能力	32.6	47.7	45.7
	言語についての知識・理解・技能	70.0	75.3	75.8



★指導の工夫と改善

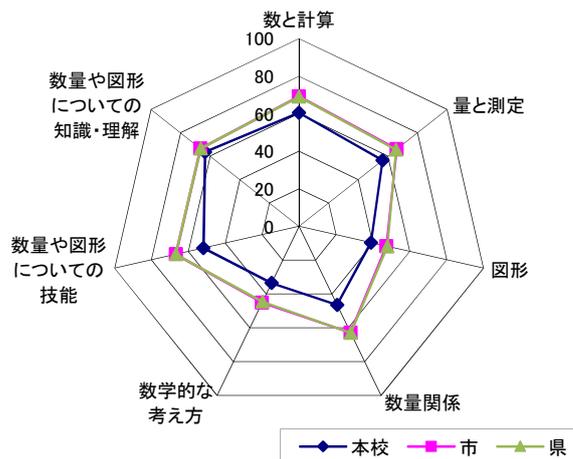
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○理由を挙げながら筋道を立てて話す問題では、県や市の正答率を上回っている。</p> <p>●話の中心に気をつけて聞き、自分の意見を述べる問題では、県や市の平均を下回っている。</p>	<p>・国語の授業だけでなく、どの教科・領域などでも、自分の考えをもつ活動やそれを文章で表現する活動を意図的に設定してきた。その結果、自分の意見を筋道立てて話す力が身に付いてきたと考えられる。一方で、話を聞く部分では課題が残るので、話し手の意図や内容を理解して聞けるよう継続して指導していく。</p>
書くこと	<p>●市や県の正答率をやや下回っている。</p> <p>●メモや友達の意見を基に、研究レポートを書いたりまとめたりする問題で、無回答率が3割を超えている。</p>	<p>・他教科においても自分の考えや感想を書いたりする機会をさらに増やし、決められた時間内に文章を書いたりまとめたりする力の向上を図る。</p> <p>・他教科や学校行事などとの関連を図り、メモを基に必要な情報を落とさずに書くことや、文章構成を意識して書く機会を繰り返し持つようにする。</p>
読むこと	<p>○文章を読んで考え、まとめたことを発表し合う問題では、県や市の正答率とほぼ同程度だった。</p> <p>●読むこと全体の達成率として、市と県の達成率を下回っている。</p>	<p>・文章を段落や場面ごとにわけて丁寧に読み取る指導は常時行ってきたが、定着には至っていない。文章を読み取る際に段落相互の関係を捉えたり、登場人物の気持ちを想像して読んだりすることを繰り返し指導していきたい。</p> <p>・語句の意味が分からないときは辞書で調べる習慣をつけ、語彙力を増やすようにしていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○漢字の読みと書き、国語辞典の使い方については、市と県の平均正答率とほぼ同程度である。「交通」という漢字の書きは、県と市の平均を上回っている。</p> <p>●ローマ字の書き方、会話文におけるかぎの使い方については、市と県の達成率を下回っている。</p>	<p>・漢字の練習をする際には、文字だけを覚えるのではなく、熟語や短文で覚えるように指導する。また、家庭学習でも繰り返し取り組めるように促していく。</p> <p>・日常的に正しい文章表記を意識して言葉を使えるように、日記や視写等の書く機会を多く設定する。</p> <p>・定期的に漢字や言葉のテストを実施し、自分自身の定着状況を把握できるようにする。</p>

宇都宮市立瑞穂野南小学校 第4学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	60.5	69.2	69.1
	量と測定	56.5	66.1	65.6
	図形	39.1	47.4	48.0
	数量関係	46.4	62.9	63.1
観点	数学的な考え方	33.5	45.1	44.6
	数量や図形についての技能	51.8	66.8	66.8
	数量や図形についての知識・理解	63.6	66.6	66.5



★指導の工夫と改善

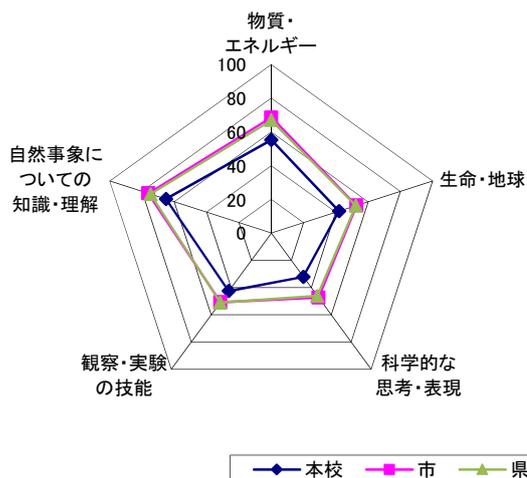
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を下回っており、あまり定着しているとは言えない。 ○引き算と割り算の計算、不等号についてはよく定着している。 ●割り算の確かめをする計算や足し算の筆算、かけ算の筆算に対する正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足し算、かけ算の計算方法を定期的に確認し、計算練習に取り組めるように指導していくことで、正確に計算する力を高めていく。 ・計算が終わったら必ず見直しをする習慣がつくように、繰り返し指導していく。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を下回っており、あまり定着しているとは言えない。 ○分と秒で表された時間を秒の単位に換算したり、およその重さを選ぶ問題については定着している。 ●はかりに示された重さを読み取ったり、発車時刻から逆算して出発時刻を求めたりする問題に対する正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重さや時間の単位の関係を復習し、基礎的な問題に取り組ませて定着が図れるようにする。 ・はかりなどの具体物にふれる機会を多くもつようにし、生活の中で実際に使えるようにしていく。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ○市と県の平均正答率とほぼ同程度である。 ○円の直径を作図する問題については、よく定着している。 ●正三角形を作図する問題に対する正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の学習は定規やコンパスなどの具体物の操作が多く、児童も意欲的に取り組んでいる。今後も図形の特徴を理解しやすい指導について工夫を重ねるとともに、繰り返し作図することでさらに定着を図りたい。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を下回っており、あまり定着しているとは言えない。 ●□を使って数量関係を表した線分図を選ぶ問題や、棒グラフの読み取りの問題で、県や市の平均を大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・□を使った計算のきまりについてはおおむね理解しているものの、線分図については定着していない。立式して計算するだけでなく、問題に適した線分図をかく機会を増やし、図に慣れるようにしていく。 ・グラフの学習では、値を読み取ったりかいたりするだけでなく、全体や部分を見て読み取れることを考える機会を設定していく。

宇都宮市立瑞穂野南小学校 第4学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	55.2	68.6	66.9
	生命・地球	42.0	52.8	52.4
観点	科学的な思考・表現	32.2	47.4	46.2
	観察・実験の技能	42.6	50.8	51.1
	自然事象についての知識・理解	65.2	76.1	74.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を下回っており、あまり定着しているとは言えない。 ○ものの体積と重さの関係に関する問題や、鏡を使った水の温め方に関する問題については、おおむね定着している。 ●「風やゴムの働き」の内容について、県や市の正答率を大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察と実験だけで終わることがないように、その活動について「考える」「話す」「自分の考えをまとめる」ことを重点的に行い、体験と知識が結びつくようにする。 ・教科書に書いてある言葉だけを覚えるのではなく、実際の事象と結びつけて考えることや、生活の中から同じ事象や似た事象を見つける時間を設定したり、投げかけをしたりすることで、実感を伴った理解が図れるようにしていく。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を下回っており、あまり定着しているとは言えない。 ○昆虫の育ち方の順序や、観察記録をもとに昆虫を選ぶ問題では、市と県の平均正答率を上回っている。 ●虫眼鏡、方位磁針、温度計の使い方に関する問題では、平均正答率を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に関する興味・関心が高いので、自然に囲まれた地域性を生かし、身近な植物や生き物の観察を続けていく。 ・実際に器具を操作する活動を多く取り入れ、知識と実体験が結びつくように支援する。 ・理由を説明したり、考察したりすることが苦手な傾向にあるので、実験や観察後のまとめをする際に、学んだ知識や考え方を共有する時間を確保し、体験したことを自分達の言葉でまとめられるようにしていく。

宇都宮市立瑞穂野南小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○学習への取り組みに関する設問の中で「授業を集中して受けている」「家で、学校の宿題をしている」という設問に対して100%の高い肯定割合を示している。さらに、各教科の内容について、学習内容はよく分かると肯定的に答えている児童が90%以上である。「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」「難しい問題にであうと、よりやる気が出る」「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」「漢字の読み方や言葉の意味が分からないときは、辞書を使って調べている」という設問に対して90%以上の高い肯定割合を示している。このことから、学ぶ意欲が高く、学習の大切さや楽しさを理解している児童が多いと思われる。

●家庭学習に関する質問の「学校の授業の復習をしている」「家で、テストで間違えた問題について勉強をしている」という設問に対して肯定割合が80%未満であり、他の設問と比べて低くなっている。

○生活に関する設問では、ほとんどの設問で肯定割合が高くなっている。「毎日の生活が充実している」という設問では、87%と高い肯定割合を示している。また「学校のきまりを守っている」の設問に対しては100%、「人と話すことは楽しい」「誰に対しても思いやりの心をもって接している」などの設問に対しては90%以上の高い肯定割合を示している。友達との良い関係を築き、落ち着いて学校生活を送っていることがわかる。

●「学校での役割や係の仕事に責任をもって取り組んでいる」という設問には100%、「自分には良いところがあると思う」という設問には95%の高い肯定割合を示しているが、「自分はクラスの役に立っていると思う」の設問に対しては69%と市や県の平均肯定割合より低い割合を示している。自己肯定感をもっている一方で、学級への貢献度に課題を感じていることが分かる。

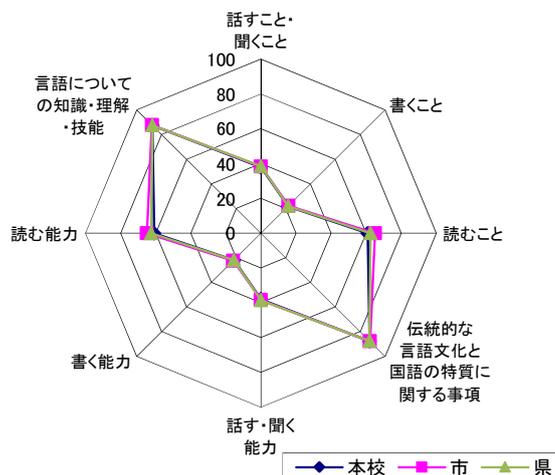
○「毎日、朝食を食べている」という設問に対しては100%の児童が食べていると答えている。また、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」という設問へも高い肯定割合を示していることから、毎日の生活に関して意識をもって生活していることがうかがえる。

●平日のテレビやビデオ・DVDを見る時間の設問に対して、3時間以上と回答した児童は40%近くいた。

宇都宮市立瑞穂野南小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	37.9	38.3	38.5
	書くこと	21.8	22.3	21.9
	読むこと	60.9	65.0	62.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	87.6	87.8	87.5
観点	話す・聞く能力	37.9	38.3	38.5
	書く能力	21.8	22.3	21.9
	読む能力	60.9	65.0	62.5
	言語についての知識・理解・技能	87.6	87.8	87.5



★指導の工夫と改善

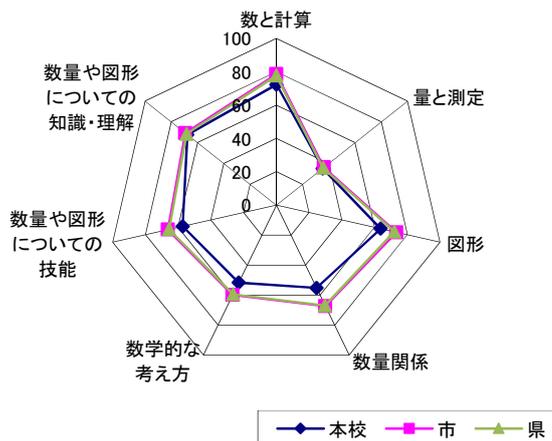
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 市と県の平均正答率とほぼ同程度である。 ○考えの根拠を示しながら筋道を立てて話す内容の記述問題では、市と県の平均正答率を6%上回っている。 ○話す力・聞く力全体の達成率として、市と県の達成率を10%上回っている。 ●考えの共通点や相違点を整理しながら聞く問題では、市と県の平均正答率を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、話の内容はもちろんのこと、話し手の思いや意図を考えながら聞く態度を育てていく。 ・大切なことを落とさずに聞いたり、話したりできるよう、メモの取り方を指導し、そのメモを活用できるようにしていく。 ・学級や学校のための話し合いを行う機会が多いので、実際の話し合いの中で、進め方やそのポイントを確認し、使えるようにしていく。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○文章構成を意識し、内容を工夫してリーフレットを作る内容の記述問題では、市と県の平均正答率を10%近く上回っている。 ○書くこと全体の達成率として、市と県の達成率を10%近く上回っている。 ●メモや友達の見解を基に、リーフレットのまとめを記述する問題では、市と県の平均正答率を6%下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を明確に書くことやその理由を適切に表現することについては、日常的に書く機会を設定し、より適切に表現できるように指導していく。 ・他教科や学校行事などの関連を図り、文章の長さを指定して、その長さで表現することを意識して書く機会を繰り返し持つようにする。また、2段階構成での文章の書き方を適宜確認してから文章を書かせるようにし、定着を図っていく。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ○市と県の平均正答率とほぼ同程度である。 ●説明文の内容の理解において、目的や必要に応じて、中心となる語や文をとらえる問題の正答率が低かった。 ●読むこと全体の達成率として、市と県の達成率を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせや言葉の学習を授業の中に意図的に取り入れて語彙を増やし、理解する時の手助けになるようにする。また、意味の分からない語句は、辞書で調べる習慣をつけていけるように指導していく。 ・文章の一部を読むだけで全体を捉えることがないように、文章を最後まで読むということを繰り返し指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○市と県の平均正答率とほぼ同程度である。 ○漢字の読みは、市と県の平均正答率とほぼ同程度である。しかし、困むという漢字の読みだけが市と県の平均正答率を下回っている。 ●漢字辞典の使い方問題は、市と県の達成率を大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の練習をする際には、文字単位で覚えるのではなく、熟語や短文を読んだり、書いたりすることを通して覚えていけるように指導する。また、家庭学習でも繰り返し取り組めるように促していく。 ・日常的に正しい文章表記を意識して言葉を使えるように、日記や視写等の書く機会を多く設定する。 ・定期的に漢字や言葉のテストを実施し、自分自身の定着状況を把握できるようにする。 ・国語辞典や漢字辞典を日常的に使うようにする。

宇都宮市立瑞穂野南小学校 第5学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	72.4	78.6	77.7
	量と測定	35.3	36.3	35.7
	図形	63.8	73.3	72.1
	数量関係	55.2	67.4	66.9
観点	数学的な考え方	51.7	59.9	59.4
	数量や図形についての技能	57.2	66.3	65.5
	数量や図形についての知識・理解	67.8	69.4	68.5



★指導の工夫と改善

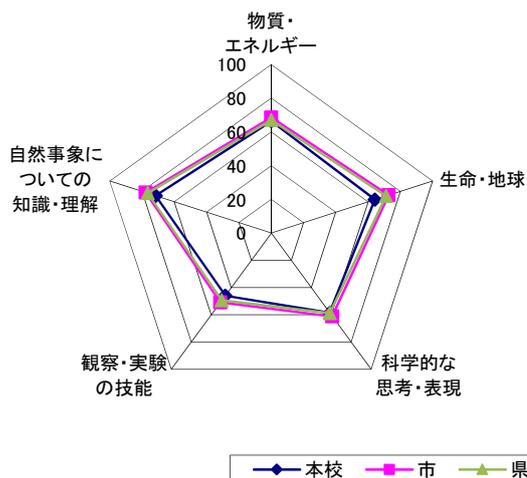
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を下回っており、あまり定着しているとは言えない。 ○小数のかけ算の計算はよく定着している。 ●倍とわり算の文章題やその文章題に適した式や図を選ぶ設問に対する正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の計算方法を定期的に確認し、計算練習に取り組めるように指導していくことで、正確に計算する力を高めていく。 ・文章題に取り組むときには、問題文を繰り返し読むことで適した式を考えられるようにすることや、図を用いて考える機会を多く取り入れることなどを指導していく。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を下回っており、あまり定着しているとは言えない。 ○教室の机の上の面のおよその面積を推測する問題では、市と県の平均正答率を15%以上上回っている。 ●1m²の正方形は1cm²の正方形何枚かを求める問題の正答率は、市県の平均正答率を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実測と目測を意識できるような測定の場面を設定していくことで、角度や面積などの量の感覚を育てていく。 ・基本的な内容の定着を図るために、繰り返し問題演習に取り組ませていく。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を少し下回っている。 ○四角形の対角線の意味はよく理解できていた。 ●図をもとに、180度より大きい角度の求め方を説明する記述問題では、市と県の平均正答率を少し下回っている。 ●立方体の展開図について定着しているとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を十分に活用し、図形の特徴を十分に捉えられるように学習活動を進めていく。 ・定規や三角定規、分度器、コンパスなどを使用する際には、正しい使い方を確認し、正確に書くことの大切さも確認した上で作図の機会を多く取り入れていく。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率を下回っており、あまり定着しているとは言えない。正答率が上回っているものもある。 ○買い物の場面で、1つの式に表した考え方を説明する記述問題では、市と県の平均正答率を上回っている。 ●基石の並べ方(順番)と基石の個数の関係を式で表す問題の正答率が市と県の平均正答率を大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四則混合の計算については、定期的に計算のきまりを確認し、繰り返し練習することで定着を図っている。 ・表やグラフの学習では、値を読み取ったり、描いたりするだけでなく、表やグラフの全体や部分を見て読み取れることを考える機会を設定していく。また、他教科等との関連を図り、生活の中の資料から読み取る経験をさせることで資料活用を力を高めていく。

宇都宮市立瑞穂野南小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	66.4	68.6	67.0
	生命・地球	64.2	72.7	71.1
観点	科学的な思考・表現	58.6	61.2	58.8
	観察・実験の技能	46.0	51.0	49.5
	自然事象についての知識・理解	71.6	77.7	76.6



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
		○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率よりもやや下回っている。 ○金属の性質を基に「あたためるとふたが開く理由」を書く記述問題では、市と県の平均正答率を10%以上上回っている。 ○電池のつなぎ方とおもりを引き上げる時間を関係付ける問題では、市と県の平均正答率を10%近く上回っている。 ●「水の状態変化」「電気のはたらき」については、正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の中で体験してきたことと知識が結びついていないので、観察と実験だけで終わることがないように、その活動について「考える」「話す」「自分の考えをまとめる」ことを重点的に行い、体験と知識が結びつくようにする。 ・教科書に書いてある言葉だけを覚えるのではなく、実際の事象と結びつけて考えることや、生活の中から同じ事象や似た事象を見つける時間を設定したり、投げかけをしたりすることで、実感を伴った理解が図れるようにしていく。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ●市と県の平均正答率よりも下回っていて、定着しているとは言えない。 ○太陽の動きから地面に立てた棒の影の動き方の問題や、星座の動きについての問題の正答率は、市と県の平均正答率よりも上回っている。 ●生物に関する内容の正答率が市と県の平均正答率よりも下回っている。特に、秋のころのカマキリのようすについての問題では、市と県の平均正答率よりも20%下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「月と星」「天気のようにす」など、授業時間だけでは、観察が難しいものについては、写真や映像資料、モデルなどを用いて、実際の様子をイメージしやすい工夫を取り入れていく。また、授業時間に限らず、理科室や教室などの環境を整備し、学習したことを適宜振り返ることができるようにする。 ・「人の体のつくりと運動」「季節と生物」など、実際に見たり、動かしたりと事象と接することが可能な学習に関しては、実際に触れる機会を多く取り入れ、実感を伴った理解が図れるようにしていく。

宇都宮市立瑞穂野南小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○学習への取り組みに関する設問の中で「家で、学校の宿題をしている」という設問に対して100%の高い肯定割合を示している。家庭学習に関する質問の「宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」「学校の授業の復習をしている」「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」という設問に対しても90%以上の高い肯定割合を示している。さらに、各教科の内容について、学習内容はよく分かると肯定的に答えている児童が90%以上である。「授業を集中して受けている」「学習に対して自分から進んで取り組んでいる」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている」という設問に対して90%以上の高い肯定割合を示している。また、宿題に対する考え方や取り組み方に対する複数の設問に対しても高い肯定割合を示している。このことから考えると、学ぶ意欲があり、学習する大切さや楽しさを理解している児童が多いと思われる。

○生活に関する設問では、ほとんどの設問で肯定割合が高くなっている。「毎日の生活が充実している」という設問では、90%以上の高い肯定割合を示している。また、「人と話すことは楽しい」「誰に対しても思いやりの心をもって接している」などの設問に対して90%以上の高い肯定割合を示している。他者との関わりの中で進んであいさつをすることが意識化されていることが分かる。さらに、「自分はクラスの役に立っていると思う」などの設問に対して市や県の平均肯定割合より高い割合を示していることから、自己肯定感をもっていることが分かる。

○「毎日、朝食を食べている」という設問に対しては100%の児童が食べていると答えている。また、「早寝、早起きを心がけている」児童も高い肯定割合を示していることから、毎日の生活に関して意識をもって生活していることがうかがえる。

●「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」の設問に対する肯定割合が75.9%を示しており、これは、ほとんどの設問で市と県の平均値を上回っている中で、市と県の平均値よりもわずかに低くなっている。

宇都宮市立瑞穂野南小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、それを文章にまとめて書く指導の充実。 学習内容(算数)の定着と習熟に向けての指導の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導を行い、自分の考えをノートに残せるようにする。 自分の考えをもつ活動やそれを文章で表現する活動を意図的に設定する。 授業の中で、学習内容の理解状況を確認する場を設けたり、類似問題に取り組ませ、習熟を図ったりする時間を位置付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より正答率は向上しているが、県や市の平均と比較すると、全体として正答率が低く、どの領域に関しても学習内容が十分に定着しているとは言えない。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> 全体として正答率が低く、どの領域に関しても学習内容が十分に定着しているとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学習内容の定着と習熟に向けての指導の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で、学習内容の理解状況を確認する場を設けたり、類似問題に取り組ませ、習熟を図ったりする時間を位置付ける。